

# 令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立安原小学校

## ①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施） （％）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	33.8	29.2	23.1	13.8	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	64.6	24.6	7.7	3.1	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	50.8	36.9	9.2	3.1	0.0
問4	英語の授業がわかる。	33.8	40.0	16.9	9.2	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	9.2	35.4	30.8	20.0	4.6
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	15.4	29.2	36.9	13.8	4.6
問7	アルファベットの大文字が書ける。	75.4	12.3	3.1	4.6	4.6
問8	アルファベットの小文字が書ける。	67.7	13.8	6.2	7.7	4.6
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	52.3	20.0	12.3	10.8	4.6
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	18.5	24.6	36.9	12.3	7.7

## ②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・授業の導入において児童の英語の発話量を確保するために、あいさつ・日付・天気・既習表現について学年に応じやり取りやスモールトークを行う。
- ・目的・場面・状況を明確にした言語活動を確実に行うことで、児童が、学んだ表現を活用できるようにする。

## ③学校関係者評価

- ・単元末に実践の場があることは、子どもたちにとってとても励みになると思います。うまく伝わった時の達成感や上手く伝わらなかった時のくやしい思いがもっと勉強したいという次の意欲につながると思います。
- ・最初は簡単な英会話を聞く・話すことから始めれば良いと思います。読む・書くは後でも良いと思います。正しい発音を覚えられると良いですね。
- ・低学年からアルファベット教育やコミュニケーション教育を図り、英語の基本的な技能をつけてほしい。
- ・最終的には外国人と会話し交流を図る目的を持った学習を進めれば良いと思います。

(記入例)

# 令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立〇〇小学校

学校名を記入

## ①小学6年生 英語学習意識調査 (令和元年度12月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	33.3	42.9	16.2	7.6	0
問2	英語の勉強は大切だ。	71.4	23.8	1.9	2.9	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	26.7	61.0	9.5	2.9	0
問4	英語の授業がわかる。	30.5	54.3	12.4	1.9	1.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	25.7	36.2	16.2	11.4	10.5
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	①②は、「小学6年生 英語学習意識調査 (令和元年度12月実施)」及び「英語教育に関する報告書(令和元年度2月実施)」より抜粋した内容が記載されている。 ※①アンケート項目、②具体策については、必要に応じて変更・追加等をしてよい。				
問7	アルファベットの大きい文字が書ける。					
問8	アルファベットの小さい文字が書ける。					
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。					
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	32.4	32.4	18.1	6.7	10.5

## ②来年度に向けての指導改善の具体策(令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・外国の方との交流設定が計画的にできなかったので、児童が学んだ英語表現の活用場面をさらに広げられるようなタイミングで外国の方との交流設定を行っていく。
- ・意識調査よりSTの復習時間を単調に感じる児童の様子が見られるので、興味を持って学習できるように計画・実施・改善していく。

## ③学校関係者評価

学校関係者・・・学校運営協議会委員 (当該学校の職員を除く)

### 評価の例)

- ・英語の勉強が好きな児童の割合は高いが、英語で質問したり、答えたりすることの肯定的な回答の割合はやや低い。児童が英語を話すことに自信が持てるように、外国の方との交流を増やすとよい。
- ・アルファベットを書くことができている児童の割合が高い。ショートタイムの時間にアルファベットを使った活動を取り入れていくとよい。